

“こうべ”の市民福祉総合計画の検証・評価について

1. 検証・評価の目的

“こうべ”の市民福祉総合計画の推進にあたっては、計画に定めた施策を着実に推進していくことを基本としながら、計画の進捗状況や社会情勢の変化等を把握して、成果を検証しながら、新しい目標に取り組むなど、柔軟に見直していくこととしている。

これを踏まえ、市民福祉調査委員会により設置された「市民福祉調査委員会 小委員会」を中心に、成果の検証・評価等を行う。また、今後については、全庁的に計画策定業務の見直しの中でPDCAサイクル作業の簡素化の徹底という大きな流れがあり、効果的な検証・評価方法についても検討していく予定である。

2. 検証・評価の方法

計画に掲げた4つの具体的取組み方策ごとに、関連する事業の進捗状況に対する検証・評価を行い、次年度へ向けた今後の方向性を策定する。

- (1) 行政による関連事業の進捗状況把握と自己評価
- (2) 小委員会による評価
- (3) アンケート等を通じた協働による改善・提案
- (4) 今後の方向性を策定
- (5) 調査委員会（本会）にて審議
- (6) 施策への反映・実行

3. 検証・評価のスケジュール

- (1) 年度終了後、前年度の進捗状況を行政内部にて検証・評価し、検証・評価シートを作成する。その後、調査委員会において審議し、既存施策の改善や方向性を見直し等を行い、次年度施策へ反映させる。
- (2) 「市民福祉に関する行動・意識調査」（市民5千人に対し実施、前回の回収率は40.5%）については5年に1度実施する他、神戸市ネットモニターアンケート等については適宜実施しながら、施策の改善や情勢の変化を踏まえた新たな取組み方策を検討する。